

1日めの分科会から

⑨ 親・家族の役割と家庭づくり

光はまだ見えない

様々な悩みや思いがあることが改めてわかりました。
でも……自分はどうしたらよいのだろう。迷うばかりです。
全く光は見えません。 ()

男親も苦しい。

男親もとても苦しいのです。でも大黒柱として頑張らねばと思う。
頭の中は真っ白。
他人の話は成功体験に見える。苦しいのは自分より本人なのだと
気づけないのが弱点か。 (父・山梨)

④ 障がいがある子どもの登校拒否・不登校

中味の濃い話

当事者の方の話。すぐく心に残りました。学校には子どもに配慮してほしいことはしっかり言うことや、昼夜逆転のとき、ゲームザンマイのときでも、親とともに楽しむことでのりきった。親がこじらせないことが一番という言葉、心に残りました。

(相談員・)

間違いではないな。

いろいろな話を聞かせてもらいました。ゆっくり子育てしていくことも大切だと、改めて学びました。

今、自分のしていることや思っていることも間違いではないな、と思うこともできました。

() 京都



おはようございます



* 分科会・ひきは 9:00~です。

* お弁当は分科会ごとに配ります

申込んだ方はお弁当券を世話人にお渡し下さい。

きのうアンケートから

いろいろなことに配慮されている分科会で、
安心して参加することができました。
一日だけの参加を考えていたが、
明日も ようく お願い致します。
(退職教員)

ひとり一人の思いを大切に。みんなでつどいをつくりましょう



このつどいは、語りあおう学びあおう、というテーマをかかげています。
世話人たちは同じ立場の親であり、この問題に心を砕く教員や研究者たちです。特に分科会では参加者が安心して胸の内を語りあえるように、それをお互いに聞きあえるように、そして、一人一人が気づき、学んだものを持ち帰ることを大事にしようと申し合わせています。

たくさんの分科会がありますが、何かのテーマを研究、解明するために集まるものではありませんので、共同研究者や助言者も置いていません。

話さず聞くだけでもかまいませんし、要項に「出入り自由です」と書いた通り、自分に合う分科会を求めて他へ移ってもかまいません。

どの分科会でも、お互いの良い交流ができますようにと願っています。



1日めの分科会から

① 小学生の登校拒否・不登校



心強い

なかなか地元では同じ状況の方に会えないので、自分だけひとりぼっちの様な感覚になることも度々ありますが、今日は心強く思いました。

(長野)

ほっとした

親としての辛さを皆さんに受け止めていただけ、少しほっとしました。同じように悩んでおられる親の方や学校の先生や、先生を目指す大学生など参加されていて心強いです。これからもたくさん相談しながら、子どもと共に成長していきたいです。

(父母・大阪)

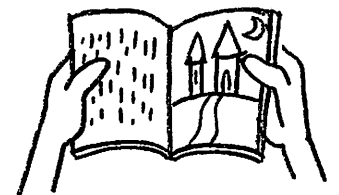
つじいがある!

参加して、自分がけっこう参っているんだなあと改めて思いました。本当はもっと参加したかったけど、今年はこのまで。学校ばかりを責める気もないし、公教育にも希望をもちます。頭がまとまりませんが、来て、来てよかったです。つじいがある!と思っ、1学期のりきれました。

(父母・愛知)

敏感になる

今の小学校で低学年の子どもの不登校が増えているのだなあ、実感しました。先生と子どもの感じ方の違いにもっと敏感にならなければと思いました。()

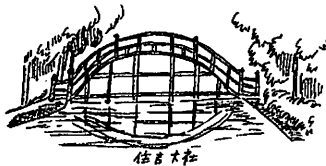


⑤ 学校とのかかわり、学校づくり

救い・希望

つかのまでしたが学校の先生方の悩みがかいま見えました。それが当事者の側からすれば救いであり、希望です。

(奈良)



捉え直し

いろいろな人が、いろいろな立場から学校を捉え直そうとしているのだと思いました。

今まで自分の中にある学校は何だろろと思います。

(学生・京都)

濃かった

いろいろな立場の方のお話を聞くことができ、勉強になりました。とても濃かったです。

⑨ 親・家族の役割と家庭づくり

安心できる家庭

同じような悩みの話を聞き参考になった。もっと理解したいことがいっぱいある。どうしたら安心できる家庭になるのか? もう一度来てみたい。

(父母・兵庫)

